

本論文は

# 世界経済評論 2022年7/8月号

(2022年7月発行)

掲載の記事です



世界経済評論

## 定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

6,600円

税込

17%

送料無料

OFF

富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

定期購読  
期間中

デジタル版バックナンバー読み放題!!



世界経済評論 定期購読



0120-223-223

[24時間・年中無休]

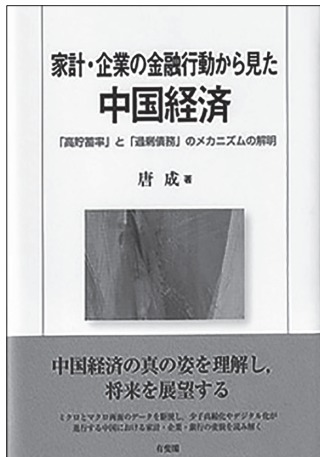
お支払い方法

Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。  
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp  
雑誌のオンライン書店

## 家計・企業の金融行動 から見た中国経済 ：「高貯蓄率」と「過剰債務」 のメカニズムの解明

キャングローバル戦略研究所研究主幹 岡寄 久実子



[著者] 唐成 (とう せい)

中央大学教授

[発行] 有斐閣, 2021年12月

[判型] A5判, ヨコ組, 228頁

[定価] 本体4,000円+税

本書は、高度経済成長終焉後の中国がこれから持続可能な安定成長を実現するために解決すべき、「過剰債務」と「高貯蓄率」の問題に焦点をあて、家計と企業の行動分析を通じてそのメカニズムの解明に取り組んだ良書である。

序章から終章まで全8章で構成された本書の前半は家計行動の分析、後半は企業と金融機関の行動分析に割り当てられている。章ごとに問題意識が明記され、既存研究の丁寧なサーベイのうえに、統計とアンケート調査結果などの分析に基づく結論が分かりやすく提示されている。また、工夫を凝らした数多くの図表が内容の理解を助けてくれる。このため、全書を一氣

に通読する時間がない読者が興味を抱いた章を先に読み進んでも、論旨を十分に理解できるだろう。

紙数の制約から本書の内容を逐一紹介し、論じることはできないので、ここでは著者の問題意識を羅列して紹介する（丸数字は章番号）。

①中国が高齢社会でありながら貯蓄率が高いのはなぜか。②中国の家計が株式や高利回りの資産運用商品などのリスク資産の保有を選択する決定要因は何か。③金融リテラシーは家計の借入行動にどのような影響を与えているか。④過去約20年の間に中国の金融機関の融資行動はどのように変化したか。シャドーバンキングの急激な発展は銀行の融資行動にどのような影響を及ぼしたか。⑤中国企業を過剰投資行動に走らせた要因は何か。⑥中国の政策金融機関はどのような役割を担ってきたか。

各章の分析は非常に丁寧で、上記問題意識に対する回答とともに、今後の中国の金融・経済改革の方向性に関する著者の提言も記されている。そうした主張は、学界における議論の深化に大いに貢献するだろう。本書は学術書として読み応えのある内容で構成されているが、論旨は簡潔明瞭であり、経済学や金融論に詳しくない読者にも分かりやすい解説書となっている。巻末の索引も充実していて、経済・金融論の参考書としても有用である。

「あとがき」によれば、著者は本書を自身の研究活動上、「来日30年目の2本目の一里塚」と位置付けている。評者は、著者の長年にわたる金融統計に対する真摯な取り組みに常々感銘を受け、学ばせていただいているところであるが、本書にはその成果が詰まっていると強く感じた。終章では、今後の研究課題の一つとして中国におけるデジタル金融の発展が取り上げられているが、研究のさらなる進展により、新たな発見があることを期待したい。

(おかげさ くみこ)